

C-12J 輸送機が飛行中に部品紛失

横田基地所属の輸送機 C-12J が飛行中に部品を紛失していました。横田基地の米空軍第 374 空輸航空団が防衛省北関東防衛局を通じて19日に周辺自治体へ提供した情報によると、紛失したのは航空機の進行方向や位置を確認するための翼端灯（航行灯）のライトレンズで、大きさ約 25.4cm × 約 10.16cm 重さ約 907 グラム。18日午前9時26分～11時34分の飛行後の点検で紛失がわかりました。米軍は紛失場所などは不明とし、飛行経路は「運用の安全上、詳細は公表できない」としています。

同時時間帯は C-12J(86-0078)が横田基地西側を巡回しながらタッチアンドゴーを繰り返していました。

飛行経路は小回り時、昭島市、福生市、羽村市、瑞穂町上空で、大回り時、昭島市、あきる野市、青梅市、瑞穂町上空でした。



5月18日午前中飛行訓練をしていた C-12J(86-0078)

横田基地のオスプレイ

米国・フィリピン合同訓練に参加か

4月6日 CV-22B オスプレイが4機離陸し南の方へ向かいました。4月30日3機が帰り、5月3日に残りの1機が帰ってきました。4月11日から28日まで、フィリピンで米国・フィリピン合同訓練(Exercise Balikatan 23)が行われました。横田基地のオスプレイもこれに参加していたものとおもわれます。

同訓練は米軍約 12,000 人、フィリピン軍約 5,000 人、オーストラリア軍 111 人、全部で約 17,000 人という過去最大規模という訓練だったようです。

4月6日離陸したのは 13-0071 14-0075 10-0054 12-0066 でした。(離陸順)

4月30日帰ってきたのは、14-0075 13-0071 12-0066 でした。(着陸順)

5月3日に 10-0054 が帰ってきました。

2ページ記事の F-35 もそうですが、

4機の内1機が不調というのが続きました。



5月3日に帰ってきた CV-22B 10-0054

F-35B 最新鋭ステルス戦闘機が飛行訓練

在日米海兵隊岩国基地の最新鋭ステルス戦闘機F-35Bが3月10日4機飛来し、連日飛行訓練をし、12日帰投しました。F-35Bが3月24日再び4機飛来し、連日飛行訓練をし、26日2機帰投、28日1機帰投しま



4月28日 訓練を終わり着陸するF-35B (VK06)

したが、1機 (VK15)は調子悪いようで20日間ほど横田基地に残り、4月17日に帰投しました。さらに、4月28日 4機飛来し、28日、29日飛行訓練をし、30日に3機帰投しました。1機(VK05)は調子悪いようで、横田基地に残り、5月2日に帰投しました。

F-35 戦闘機の半数が動かない

経済・金融系メディアであるブルームバーグは現地時間の2023年3月30日、アメリカ空軍が保有するステルス戦闘機であるF-35「ライトニングII」のうち、半分近くの機体の戦闘準備が整っておらず、稼働していない状態と報じました。

情報は空軍のマイケル・シュミット中将のコメントによるもので、現在アメリカ空軍が保有している540機のF-35のうち、2023年2月時点で戦闘準備が整っているのは286機、53.1%とのことです。

なお、アメリカ国防総省では、F-35の戦闘準備率を65%と規定していることから、「これは受け入れがたいこと」だとシュミット中将は述べたそうです。

そもそも、米国会計検査院 (GAO)は2018年6月、F-35に966件もの未解決の欠陥があり、そのうち111件が「安全性や他の重要な性能を危険にさらしうる欠陥」としていたところ。これらの「欠陥」が解決されていないため、故障が多く、稼働率が低くなっていると思われます。特にエンジンの故障率が高く、そのためスペアパーツが不足し、満足な修理を行えない機体が存在してしまいう状態に陥っているといわれています。

同機のエンジントラブルに関しては、2022年4月からタービブレードの劣化による故障の頻発が指摘されてきました。さらにエンジン以外にも、2022年7月には、パイロットが脱出するための射出座席に一部不具合が報告され、緊急時にパイロットが安全に脱出できず、危険にさらす可能性があるとして、アメリカ空軍がF-35の飛行停止を命じたこともあるそうです。

F-35 戦闘機はうるさい

福生市熊川と瑞穂町箱根ヶ崎に設置された騒音測定器の記録をみると、F-35は騒音値が高いことがわかります。

瑞穂町箱根ヶ崎
2023年3月 測定

日	騒音 最高値(dB)
1	87.5
2	90.1
3	87.8
4	91.6
5	87.1
6	93.4
7	87.5
8	84.4
9	89.3
10	112.1
11	105.3
12	111.8
13	96.5
14	96.1
15	93.9
16	87.2
17	88.2
18	93.7
19	90.6
20	91.6
21	89.5
22	85.2
23	86.6
24	102.8
25	107.1
26	106.5
27	87.3
28	103.7
29	87.2
30	93.6
31	89.3

F-35B飛行
(参考)

☆
☆
☆

☆
☆
☆

☆

福生市熊川
2022年4月
~2023年3月 測定

月	騒音 最高値(dB)	F-35B飛行 (参考)
4	105	
5	114	☆
6	105	
7	114	☆
8	102	
9	114	
10	112	
11	122	☆
12	110	
5年1	118	
2	106	
3	122	☆
月平均	116	